社会福祉法人 高瀬会

高瀬会だより

第１４号

◇毎年恒例。地元小学校との交流運動会！！◇

◇高瀬会地域密着型バーデンライフ・ケアセンター　『湯ごりの郷』◇

現在、那智勝浦町湯川に建設中（来春３月開設予定）の「湯ごりの郷」は、地域密着型という新しい制度によるサービスと湯川の温泉を利用した施設です。

［事業内容］

○高瀬会第２訪問介護ステーション※

○高瀬会第２訪問看護ステーション※

※JR太地駅より移転

○湯川温泉ふれあいサロン「ゆかし庵」※

※隣地より移転　　介護予防拠点　定員１５名

○夜間ヘルパー（夜間対応型訪問介護事業所）

夜間において、定期的な巡回又は通報によりご利用様宅を訪問します。

○認知症デイサービス（認知症対応型通所介護）定員１２名

認知症のある方への援助とご家族の負担軽減を図ります。

○小規模多機能ハウス（小規模多機能型居宅介護）

登録制で定員２５名が、「通い」「訪問」「宿泊」を一体的に利用できます。同じスタッフが対応して、顔なじみの関係を大事にします。
○グループホーム（認知症対応型共同生活介護）
定員１８名
認知症のある方が家庭的な共同生活を行い、その進行を予防します。
○ケアハウス（地域密着型特定施設入居者生活介護）　定員２９名
施設に入居し、適切な食事、排泄　入浴等の介護が受けられます。

※入居・ご利用のご相談（予約）等は、下記までお気軽にお問い合わせください。

■担当者　　弓場（グループホームもみの樹）　　電話０７３５－７２－３３２２

◇第８回　高瀬会・明神小学校交流運動会◇

平成19年9月27日高瀬会恒例の運動会が開催されました。地域からは、明神小学校のみなさま、高瀬区老人クラブの方々、古座川町宮本保健福祉課長様、紀陽銀行古座支店長様にご参加いただだき、盛大に開催されました。昨年は、雨で屋内での開催でしたが、今年は気候もよく楽しいひと時を過ごすことができました。

プログラム

開会のあいさつ　切士理事長
準備体操（ラジオ体操第2）
パン食い競争
玉いれ
おみやげ釣り競争
いす取りゲーム
綱引き
リレー
輪投げ
小学生による踊り「花笠音頭」
成績発表・表彰式
閉会のあいさつ　明神小学校校長先生
昼食

◇敬老を祝して◇

敬老祝賀会

平成１９年９月１７日（月）敬老の日に、当法人では今年もあじさい苑と地域交流ホールの２会場で敬老祝賀会が開催されました。東会の皆様による日本舞や職員による踊りの催し等、紅白饅頭にお祝いの膳を囲んで、ご利用者の皆様に楽しい時間を過ごしていただくことができました。高瀬地区の老人会の皆様にもご参加いただき、一緒に祝うことができました。ご参加、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

◇１００歳のお祝い！！◇

表彰・お祝いを受けられた山口様と弓本様

お年寄りにとって、「敬老の日」は特別な意味を持つ大切な日です。地域でも、施設でも、家族でも、敬老を祝う催しやプレゼントをされることが多いと思います。施設にいると、ご利用者様に、ご家族等から、お花やカード等が贈られて届きます。お年寄りがご家族の真ん中で感謝をあびる日なのでしょうね。ご利用者様はとても嬉しそうにそれを受け取っています。

古座川園では、山口とみ様（明治４０年１０月８日生）、弓本たま様（同年１０月９日生）が、今年めでたく100歳を迎えられ、内閣総理大臣や和歌山県知事からの表彰やお祝いを受けました。子供さんやお孫さんとのお祝いに外泊されたり、100本のバラの花束（初めて見ました。100本のバラを！！）やメッセージが届いたり、それぞれのご家族の思いをそばにいて感じることができました。また、見学の方々からも多くのお祝いの言葉をかけていただいたりと２人とも大忙しです。注目を浴びる機会を重ねていると、いつにも増してお元気になられたような気がします。100歳を迎えるって自然なこと、だけれども誰もができるわけではないですよね。２人に秘訣をインタビューしました。人に迷惑をかけずに

頑張ること（山口様）、好きなことをすること（弓本様）と答えてくれました。本当におめでとうございました。これからも末永く、元気に楽しい人生を大賀していただきたいと思います。来年も3名の方が100歳を迎える予定です。（今年は白寿）

◇高瀬会納涼盆踊り◇

今年も、8月12日に高瀬会納涼盆踊りが開催されました。遠方から帰省されているご家族様も多く訪れて下さり、ご利用者様と共に楽しい時間を過ごして頂けたようです。大きな行事のある日はもちろん、そうでない日もご家族様の面会は大歓迎！皆でお待ちしています。

◇ご家族と一緒に過ごす楽しいひととき…。◇

◇グリーンヴィレッジ古座川◇　夕涼み会

今年も、暑い日が続きました。昼間はなかなか外で活動できません。そこで、夕食後涼しくなってから外にでることにしました。GVの小さな花火大会！！花火を手にして笑顔でこたえてくれました。「こんなん、久しぶりや！！」「雰囲気もゆったりできてなかなかいいね！！」と喜んでもらえました。スイカもおいしかったよ！

食欲の秋

秋らしくなってきました。食欲の秋、秋といえば焼き魚？！１０月１７日のお昼ご飯にプラス一品秋刀魚を炭焼きにして食べました。最近の家庭では、なかなか魚を炭焼きにして食べるということがみられなくなりました。利用者さんのほうが経験も多くあり、魚を焼いたときの話やそれに繋がる昔の思い出話しなど普段聞くことができない利用者さんの一面をみることができました。グリーンヴィレッジ古座川では、こうしたご利用者さんの声を大切にし、安心してご利用いただけるよう取り組んでおります。

◇あじさい苑◇　バルーンアートに挑戦

あじさい苑では、毎月様々な行事が行われています。今回ご紹介するのは風船から犬やウサギの形を作りだすバルーンアートです。作っている様子は今にも割れそうでハラハラどきどき、完成品を受け取るご利用者様の手も「割ってはならぬ」と慎重になります。その後に行われた風船バレーでは定番ながらもついつい白熱。我先にと伸びる手は勢いに溢れ、いつも負けるのは職員です。

観月会

去る９月２５日朝から雲行きが怪しく、空模様を皆気にしてその日一日を過ごされていました。
屋上に椅子や畳を置いてテーブルにはススキに萩など用意され、皆思い々の場所に座り、日の落ちるのを待っていると、心配事も何処えやら空は雲ひとつなくお月見日和に。
　さあ、始まりです。十五夜や炭坑節など口々に唄われたり、それに合わせて踊ったり、ジュースやビールを飲んだりと楽しまれていました。
あちらこちらから「綺麗やねー。」との声も。また、眼を手術したばかりの方は、「今迄で見た中で一番綺麗なお月様や。」と話され、とても喜ばれ、時間の経つのも忘れて眺められていました。

◇豆知識　「観月」◇

お月見のことを観月（かんげつ）ともいいますが、旧暦の8月15日、月を慈しむ風習として始められた「お月見」。中国の「里芋の収穫祭」が宮廷行事となって、奈良時代から平安時代に日本へ伝えられたと言う説があります。日本では８月15日だけでなく９月13日にも月見をする風習があり、こちらは「十三夜」、「後の月」、「栗名月」とも呼ばれています。各地には「十五夜をしたなら、必ず十三夜もしなければいけない」という言葉が伝えられており、片方の月見しかしないのは「片見月」と言って嫌われたそうです。また供えたススキを家の軒に吊るしておくと一年間病気をしないという言い伝えもあるそうです。

◇高瀬会デイサービスセンター◇

9月27日・28日古座高校2年生4名の職場体験学習（インターシップ）がありました。高校生の早い時期に自分の将来像を見出し、実際の仕事を現場で体験することで職業観・勤労観を育成し、社会人としてのあり方・生き方について学ぶことが目的とのことで4人とも一生懸命に頑張ってくれていました。自分たちの時代では、（28年前では）考えもしなかったことですが、夢を持つことは今も昔も変わらないことだと思います。2日間の体験でしたが、この体験を活かして少しでも自分のしたいことに役立ててくれればよいと思っています。どうか頑張ってください。

◇もみの樹◇

認知症を予防、改善するには、簡単な読み書き、計算（一桁のたし算などの簡単な計算問題や本を音読するとき）が、左右の前頭前野を含めた脳全体が活性化すると言われています。
グループホーム“もみの樹”では、昔話や民話などのなつかしい話を紙芝居にして、毎日１０分間ほど、音読練習をしています。
それを、地域との交流を兼ねて、近隣の保育所や明神地区のふれあいいきいきサロンで披露させていただいています。
子供達の喜んでくれる顔を楽しみに練習にも力が入っています。

今年も、干し柿作りました。

渋柿を甘くするには？？？「ヘタのところに日本酒をたらす」、「わらの中に入れておく」など色々話しながら、
みんなで皮むきをしました。「渋を服につけたらアカンで！」と気をつけながら。
皮むきの次は、ひもでくくります。慣れた手つきで次々とくくってくれました。
みんなですると、あっという間に出来上がり・・・ベランダに干しています。
甘く、おいしくできますように！！

◇古座川園◇

残暑も去り、少しづつ秋の気配が感じられるようになりました。お天気の良い日には、園外へ散歩に出かけ、気分をリフレッシュしていただきます。(自然浴が十分に味わえる環境なので・・・)散歩中、子犬との出会い？？？があり、思いもかけず、ご利用者様の素敵な笑顔が見ることができました。子犬を撫でたり、ふれあったりしている姿は、大変微笑ましく、子犬を見る目は、普段とは違うなんともいえない優しい表情でした。一緒にいるとこちらまで癒される光景です。

消防訓練を共に

施設ごとに、毎年、消防訓練を行っており、緊急災害に適切に対応できる体制を整えています。今年の古座川園の訓練では、ご利用者様も一緒に消火訓練を体験していただくことができました。『自分のことは自分で守る！』意識が先行したのでしょうか？消火時間を競う職員の姿が楽しそうに見えたのでしょうか？是非、体験してみたいと希望されるご利用者様・・・確かに、火災の場合には、初期消火が被害拡大を防止する重要なポイントとなるようです。消火器を扱う姿は、とてもたくましく見えました。

◇高芝獅子舞◇

平成１９年１０月１４日（日）、高芝（那智勝浦町下里地区）の獅子舞の慰問があり、あじさい苑にて、勇壮な舞いが披露されました。高芝の獅子舞は、ご存知の方が多いと思いますが、県指定無形文化財の伝統ある獅子舞です。その獅子舞で以前、太鼓で活躍されていた濱口省一様（古座川園）は、今でも心から高芝の獅子舞を愛しておられ、この日が来るのを待ち望んでいました。当日は、一緒に参加され、久しぶりに太鼓を叩かれました。太鼓を叩く表情はとても真剣で、まさしく「男」の顔！終えると「もう少し腕が動けばなあ・・・」といいながらも、とても晴れやかで、すがすがしい表情をされていました。娘さん夫婦も、その様子に喜んでおられました。

◇高瀬会軟式野球部◇

高瀬会では福利厚生の一環として、野球チーム・サッカーチームが「みんなで楽しく」をモットーに活動しています。まだ残暑の残る１０月３日、今回は古座川町でも屈指の名門野球チーム『寿野球ウシロジャパン』（代表　山口裕久氏）との初対決となりました。両チームとも仕事後のナイター試合にもかかわらず、日頃の野球好き?を発揮し熱いバトルを繰り広げました。結果は珍プレー続出の高瀬会の完敗でしたが、『寿野球』さまには、これにこりず次回の再戦を約束していただきました。翌日、高瀬会メンバーは筋肉痛に悩まされながらのお仕事ご苦労様でした？（笑）

◇ボランティアの皆様◇

いつも高瀬会に来ていただき、ありがとうございます。
ご利用者の皆様も職員も普段見ることのない様々な踊りや珍しい楽器での演奏をいつも楽しみにしています。
ご紹介させていただいております皆様の他にもたくさんの方にお越しいただいておりますので、またご紹介させていただきます。

フラダンス愛好会の皆様

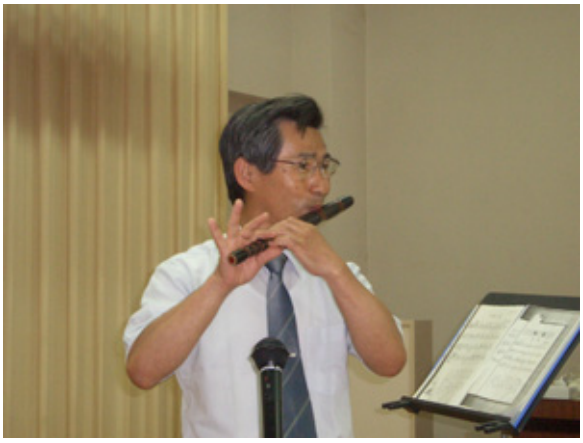
わくわくボランティアの皆様

浦神舞踏の会の皆様

音楽療法　米津多美先生

高瀬区と地域老人会ＮＮＫの皆様

東会の皆様



竜笛　尾谷龍一先生

◇◇楽しかった思ひ出◇◇

みなさんの前でカラオケ披露（敬老会）

一面のサルビアの前で記念撮影

相撲大会はっけよいのこった（誕生会）

ねぇ？ちゃんと見てくれてた？(高芝獅子舞)

椅子とりゲーム椅子がつぶれた？？（運動会）

外での食事気持ちいいよ！(運動会）

編集後記
運動会のシーズンも過ぎ、いよいよ晩秋・・・と言いたいところですが、今年は秋を感じることなく、冬がきそうな気候です。
私の中で、秋の風物詩といえば、ススキの穂や金木犀の香りですが、だんだん時期が遅くなってきているような・・・。
冬を迎える時期に桜が咲いたり、地球温暖化の影響でしょうか？
でも、やっと衣替えをする気分になってきましたね。　　（由谷）

Copyright:(c)2004 Takasekai All Right Reserved.